



ナイス<8089>、山大<7426>をTOBで子会社化



住宅資材販売やデベロッパー事業を展開するナイスは、住宅資材販売・木材加工の山大を子会社化することで、原木調達力の強化や製材拠点の確保などの相乗効果を見込む。また、山大が保有する特殊プレカット加工などの技術や仙台圏を中心とした東日本エリアの事業基盤を確保し、公共・民間建築物など非住宅分野での木造建築事業の強化につなげる。

一方、山大は東証スタンダード市場の上場維持基準の一つである流通株式時価総額を満たしておらず、10月1日に上場廃止が決まっていた。ナイスの傘下に入り、その販売・物流網を活用することで、自社の収益力向上や競争力強化が見込まれると判断した。

買付代金は約4億6400万円。買付価格は1株につき601円で、公表前営業日の終値500円に対して20.2%のプレミアムを加えた。

買付予定数は77万2839株で、下限は所有割合36.24%にあたる40万2600株。買付期間は2026年6月2日～7月13日までの30営業日。決済の開始日は7月21日。公開買付代理人は大和証券。

山大はTOB（株式公開買い付け）に賛同し、株主に応募を推奨している。TOB成立後、同社は東証スタンダード市場への上場が廃止となる。

山大は1964年に山大産業として設立。1989年に現社名に変更。1995年に株式を店頭登録、2004年にジャスダック市場に上場（2022年4月に東証スタンダード市場に移行）。